

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

【設定日】 2011年7月28日

【決算日】 原則、3月、6月、9月、12月の各5日

運用実績

基準価額および純資産総額

基準価額	9,042円
純資産総額	2.12億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1か月間	-0.36%
過去3か月間	2.73%
過去6か月間	0.81%
過去1年間	6.72%
過去3年間	5.22%
過去5年間	55.13%

設定来 56.46%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものと計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

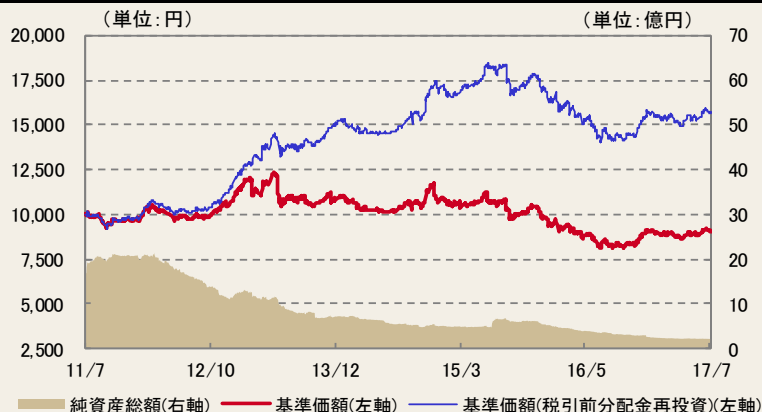
分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

2016年06月	0円
2016年09月	0円
2016年12月	0円
2017年03月	0円
2017年06月	0円
設定来累計	6,028円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移

2011/07/28～2017/07/31



※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
 ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
 ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
 ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Prudence RMB Income Fund JPY D	95.89%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.04%
コール・ローン等	3.07%

投資信託証券：UBP オポチュニティーズブルーデンスRMB インカムファンド

本項目は、UBP インベストメントおよびブルーデンス・インベストメント・マネージメントが作成したデータを掲載しております。

構成比率

	純資産比
公社債	91.5%
現金等	8.5%

残存期間別構成比率

残存期間	構成比
1年未満	49.9%
1-3年	41.6%

ポートフォリオの状況

クーポン	4.1%
最終利回り	4.0%
平均残存期間(年)	1.0
デュレーション(年)	0.9
平均格付	BBB

※ 格付は S&P、ムーディーズ、フィッチのうち、最上位の格付を採用しています。
 格付のない発行体については、ブルーデンス・インベストメント・マネージメントの社内格付を採用しています。
 ※ 平均格付については、ブルーデンス・インベストメント・マネージメントの計算方法に基づいて表記しており、現金等を最上級の格付と同等とみなしております。なお平均格付は当ファンドに係る信用格付ではありません。
 ※ 最終利回りは、ファンド組入銘柄等の利回りの加重平均等により算出したものであり、ファンド全体の期待利回りを示すものではありません。

格付別構成比率

格付	純資産比
A	48.3%
BBB	36.1%
B	7.1%

※ 格付は S&P、ムーディーズ、フィッチのうち、最上位の格付を採用しています。
 格付のない発行体については、ブルーデンス・インベストメント・マネージメントの社内格付を採用しています。

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

業種別構成比率

業種	純資産比
銀行	18.5%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	15.1%
エネルギー	14.8%
保険	13.5%
各種金融	13.0%
公益	7.1%
電気通信サービス	5.6%
不動産	3.7%

投資信託証券価額の変動要因(円)

	計	インカム要因	キャピタル要因
債券	63	38	25
通貨	-91	-	-
その他	-9	-	-
合計	-37	-	-

※ 上記数値は、簡便法により月間の投資信託証券価額の変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

組入上位銘柄

銘柄名	クーポン	償還日	国・地域	業種	格付	純資産比
1 LENOVO GROUP LTD (レノボ・グループ)	4.950%	2020/06/10	中国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	BBB	15.1%
2 JINGNENG CLEAN ENERGY IN (ジンナン・クリーン・エナジー)	4.300%	2017/12/23	中国	エネルギー	A	14.8%
3 VALUE SUCCESS INTL LTD (バリュー・サクセス・インターナショナル)	4.750%	2018/11/04	香港	保険	BBB	13.5%
4 ICBCIL FINANCE CO LTD (アイシービーシーアイエル・ファイナンス)	3.900%	2018/06/18	中国	各種金融	A	9.3%
5 CHINA CONST BANK/SYDNEY (チャイナ・コンストラクション・バンク)	3.800%	2017/09/29	中国	銀行	A	9.3%
6 IND & COMM BK CHINA/SG (インダストリアルアンドコマーシャルバンクオブチャイナ)	3.200%	2018/09/19	中国	銀行	A	9.2%
7 I.T LTD (アイ・ティー)	6.250%	2018/05/15	香港	公益	B	7.1%
8 PROVEN HONOUR CAPITAL (プループン・オーナー・キャピタル)	4.550%	2017/09/25	中国	電気通信サービス	A	5.6%
9 VANKE REAL ESTATE HK (バンカリアル エステート)	4.500%	2018/12/04	中国	不動産	BBB	3.7%
10 UNICAN LTD (ユニキャン)	5.600%	2017/09/18	中国	各種金融	BBB	3.7%

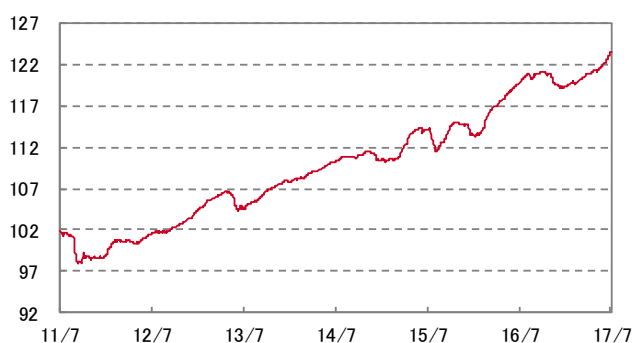
組入銘柄数 10銘柄

※ 格付は、S&P、ムーディーズ、フィッチのうち、最上位の格付を採用しています。格付のない発行体については、ブルーデンス・インベストメント・マネージメントの社内格付を採用しています。

<ご参考>

主要指数の推移

2011/07/28~2017/07/31



— FTSE BOCHK Offshore RMB Bond Index

出所: Bloomberg

主要為替レート(対円)

2011/07/28~2017/07/31



(単位: 円)

— 人民元

出所: 投資信託協会

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

ファンドマネージャーコメント

UBP オポチュニティーズブルーデンスRMB インカムファンド

○市場動向

7月の点心債(中国本土以外、主として香港で発行されている人民元建て債券)市場は上昇しました。点心債市場は、月初に発表された製造業の景況感を示す経済指標が予想を上回ったこと等から、前月の流れを引き継ぎ底堅い展開で始まりまし。また、その後に発表された外貨準備高も5か月連続の増加が示され、中国が直面する資本流出圧力が和らいでいるとの見方が広がり、市場の堅調地合いは継続しました。中旬に開催された金融工作会議で、習国家主席が金融規制強化を示唆したことから、中国株式市場は一時大きく下落しましたが、点心債市場に与える影響はほとんど見られず、その後に発表された4-6月期GDPが前年同期比6.9%増と、1-3月期と同水準の伸びとなったこと等が好感され、底堅い動きとなりました。月末にかけても、点心債市場は上昇基調が継続しました。

オフショア人民元は、月前半はほぼ横ばいで推移していましたが、その後、ドルが主要通貨に対して下落基調となったことから、対ドルで堅調な展開となりました。しかし、当月は、円が対ドルで上昇したことから、オフショア人民元は対円では下落しました。

○運用経過

当月も、投資適格銘柄とハイイールド銘柄両方におけるいくつかのコアポジションの保有を通じ、収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

中国経済は、政府による景気下支え策等により、底堅い動きが継続しています。とりわけ、これまで大きく鈍化してきた民間部門の投資の動きが活発化しているほか、雇用・所得環境の改善を受け個人消費も堅調に推移し、加えて、先進国を中心とした世界経済の回復の動きを反映して輸出も底堅く、内・外需とも好調です。内陸部を中心に一部で過熱感が見られる住宅市場や、シャドーバンキング拡大抑制に向け、金融当局は引き続き市場金利の高め誘導政策を取ることが予想されますが、一方で、急速な引き締めにより実体経済や金融システムに悪影響を及ぼすことにも警戒し、慎重姿勢で臨むものと思われます。資本流出規制の強化や短期金利の上昇等から、引き続き人民元の対ドルレートは底堅い展開が予想されます。このような中、点心債の今年の発行額はこれまでのところ昨年並みのペースで推移しており、市場は着実に拡大しています。一方で、高い利回りを求める投資家の需要も旺盛で、需給環境は良好です。

引き続き、個別銘柄のクレジットファンダメンタルズや市場全体のテクニカルな動きの綿密な分析により、短期的な市場変動を軽減するために一定程度分散された、残存期間が短めの投資適格債と、リスクに見合う好利回りのハイイールド銘柄の組み合わせによるポートフォリオを維持します。全体のデュレーションは、引き続き短めに保つ方針です。

(「UBPオポチュニティーズブルーデンスRMB インカムファンド」の運用会社からの情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成)

損保ジャパン日本債券マザーファンド

構成比率(マザーファンド)

	純資産比
公社債	97.91%
コール・ローン等	2.09%

種類別構成比率(マザーファンド)

種類	純資産比
国債証券	59.5%
社債券	32.7%
特殊債券	5.7%

組入上位10銘柄(マザーファンド)

銘柄名	種類	償還日	純資産比
1 131 5年国債	国債証券	2022/3/20	7.5%
2 345 10年国債	国債証券	2026/12/20	3.9%
3 148 20年国債	国債証券	2034/3/20	3.7%
4 152 20年国債	国債証券	2035/3/20	3.5%
5 151 20年国債	国債証券	2034/12/20	3.3%
6 35 30年国債	国債証券	2041/9/20	3.2%
7 160 20年国債	国債証券	2037/3/20	3.1%
8 342 10年国債	国債証券	2026/3/20	2.6%
9 329 10年国債	国債証券	2023/6/20	2.3%
10 51 30年国債	国債証券	2046/6/20	2.3%
組入銘柄数			86銘柄

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

Ⅰ ファンドの特色

1 主として、「中国本土以外で発行・流通している人民元建て債券」[※]等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。

※ 大半は、香港で発行されており、一般的にそれらは「点心債」と呼ばれています。

中国本土以外の市場で発行される人民元建て債券以外に人民元建て転換社債にも投資する場合があります。

また、将来、中国政府によって規制が緩和された場合には、中国本土市場で発行される人民元建て債券等にも投資する場合があります。

● ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します

・ 当ファンドは「UBP オポチュニティーズ ブルーデンス RMB インカム ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

・ 原則として「UBP オポチュニティーズ ブルーデンス RMB インカム ファンド」への投資比率を可能な限り高位に保ちます。

2 人民元高による為替差益と債券投資による運用収益（インカムゲイン・キャピタルゲイン等）の獲得を目指します。

● 上昇期待の強い人民元に投資することで、円安・人民元高による為替差益の獲得を目指します。

● 人民元建て債券に投資を行いインカムゲインの獲得を目指すとともに、信用リスクの改善が見込める企業等の債券にも投資を行うことで、債券価格の上昇によるキャピタルゲインの獲得も目指します。

3 年4回決算を行い、安定的に分配を行います。

● 決算日は原則、3月、6月、9月、12月の各5日。休業日の場合は翌営業日とします。

● 分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。

Ⅱ 投資リスク①

《基準価額の変動要因》

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆ 価格変動リスク

公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、金融政策等の影響を受けて変動します。一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。組入れている公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆ 信用リスク

公社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、公社債の価値がなくなることあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆ 流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆ 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆ カントリーリスク

一般的に、主要先進国以外の国では、主要先進国に比べて、経済が脆弱である可能性があり、国内外の政治・経済情勢、取引制度、税制の変化等の影響を受けやすく、また市場規模や取引量が小さいこと等から有価証券等の価格がより大きく変動することがあり、ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

また、中国政府による海外への送金規制（海外からの投資規制）や課徴的な税制等の規制の導入、政策の変更等により、為替市場や有価証券市場が著しい悪影響を被る可能性や運用上の制約を大きく受ける可能性があります。

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

投資リスク②

《その他の留意点》

- ◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。
- ◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ◆ 主に香港市場における人民元為替取引は、オフショア人民元（CNH）の換算レートが用いられます。中国本土内外の人民元為替取引は完全に自由化されていないため、CNHと中国本土のオンショア人民元（CNY）の為替レートが連動しないことがあり、CNHとCNYの値動きは乖離する場合があります。
- ◆ 当ファンドは、投資信託証券を通じて中国本土以外で発行・流通している人民元建て債券等を、実質的な主要投資対象としますが、債券の発行・流通市場の需給関係等によっては、組入れに時間がかかることがあります。したがって当ファンドは債券の組入比率が低い状態が続く場合があります。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の解約および換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等※その他やむを得ない事情により、有価証券の売却（主要投資対象とする投資信託証券の解約または換金を含みます。）や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。 ※ 外国為替取引の停止、決済機能の停止、取引市場における流動性が極端に減少した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、投資対象国等における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、税制の変更、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少もしくは資金決済に関する障害等をいいます。以下同じ。
申込不可日	ルクセンブルグまたは香港のいずれかの銀行休業日（半日休業日を含みます。）およびルクセンブルグまたは香港のいずれかの銀行休業日（半日休業日を含みます。）が連続する期間（土曜日、日曜日を除きます。）ならびに当該期間開始日より3営業日前までの期間
申込締切時間	原則として午後3時まで（販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の申込み・解約及び換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	平成33年6月7日まで（設定日 平成23年7月28日） ※ 委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	主要投資対象とする投資信託証券が償還する場合、受益権の残存口数が10億口を下回るようになった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則、3月、6月、9月、12月の各5日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年4回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	1,500億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	原則、毎年6月、12月の決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額に 3.78% (税抜3.5%) を上限 として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.0692% (税抜0.99%) を乗じた額とし、毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	運用管理費用(信託報酬)＝運用期間中の基準価額×信託報酬率
	委託会社 年率0.35% (税抜)	ファンドの運用の対価
	販売会社 年率0.60% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
	受託会社 年率0.04% (税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券の信託報酬等	年率0.93% ※ 年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※ 上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等(監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	投資対象とする投資信託証券の運用の対価、管理報酬等
実質的な運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対して 概ね1.9992%*(税込・年率) 程度となります。 ※ 当ファンドの運用管理費用(信託報酬)1.0692%(税抜0.99%)に、投資対象とする投資信託証券の信託報酬等(年率0.93%)を加算しております。投資信託証券の組入状況等によって、実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)は変動します。	
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ● 監査費用 ファンドの日々の純資産総額に定率(年0.00216%(税抜0.0020%))を乗じた額とし、実際の費用額(年間27万円(税抜25万円))を上限とします。なお、上限額は変動する可能性があります。 ● その他の費用* 売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等 ※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用 ● 売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ● 保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用

※ 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

●税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 法人の場合は上記とは異なります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

人民元建て債券ファンド(愛称: 点心債)

●委託会社受賞歴



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントはR & Iファンド大賞2017の「投資信託／総合部門」において外国債券総合「優秀賞」を受賞しました。

「R & Iファンド大賞」は、R & I等が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I等が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I等に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○			
宇都宮証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○				
西村証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第26号	○				
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○				

<備考欄の表示について>

- ※1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※3 新規のお取扱いを行っておりません。

<ご留意事項>

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ： http://www.sjnk-am.co.jp/ 電話番号： 0120-69-5432 ●クライアントサービス第二部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 みずほ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：資産管理サービス信託銀行株式会社）
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。
- ◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。